

2019年11月26日  
株式会社アスコエパートナーズ

## 会津若松市の協力のもと スマートシティ・デジタルガバメントを推進する実証研究を実施

ワンストップ・ワンスオンリーを意識した、より効率的でシンプルな  
行政サービス運営の実現とサービス利用者の利便性向上を目指す

株式会社アスコエパートナーズ（東京都港区、代表取締役社長：安井 秀行、以下、アスコエ）がアクセンチュア株式会社（以下、アクセンチュア）、株式会社 ARISE analytics、TIS 株式会社と連携し、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AI を活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」（管理法人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））の「(a-2)スマートシティ分野の実証研究」に対して行った共同提案が採択され、このたび会津若松市の協力のもとに実証研究を実施することになりました。

今回の実証研究は、生活のいたるところに ICT が浸透する Society5.0 時代に対応した、多種多様な分野の ICT システム・サービスを整理して、連携可能な「都市 OS<sup>\*1</sup>」アーキテクチャの構築を目的としています。会津若松市のリーダーシップのもと、アクセンチュアが開発を支援し、2015年より運用されている市民向けコミュニケーションポータル「会津若松+（プラス）」に、行政手続きをサービスとして追加し、地域主導・住民目線のサービスデリバリーと利活用を意識したモデルを作り、他地域への展開にも役立てられるものを目指します。

※1：「都市 OS」とは、スマートシティの実現のために共通的に活用されうるプラットフォーム（NEDO 公募要領から抜粋）

アスコエは、デジタルガバメントサービスに関する以下の実証研究開発を行います。

### 【1】都市 OS と連携したデジタルガバメントサービス

- 「妊娠・出産」「子育て」の行政サービス情報データベース（ユニバーサルメニュー<sup>®</sup>）と、都市 OS が保有する利用者属性情報データを紐づけて、利用者に最適な行政サービスの提案ができるレコメンドエンジン(AI)を高度化
- 都市 OS に「妊娠・出産」「子育て」に係る行政手続きナビゲーションサービスツールを実装

### 【2】都市 OS 基盤間連携技術の調査研究開発

- 行政サービス情報と利用者属性情報のコンテンツ標準プロトタイプ開発
- ASEAN 地域 2 か国におけるデジタルガバメント推進状況の調査

## ■実証研究の概要

- 実施期間：2020年2月中（予定）
- 内容：子どもが生まれた時に行う行政手続きを「会津若松+」上で確認し、Webフォームに必要事項を入力して同時に複数の申請書を作成することができます。氏名や住所など重複項目は自動反映され、同じ内容を何度も記載する必要はありません。入力途中で保存し、中断した箇所から入力作業を再開することもできます。入力が完了すると申請書はPDF形式で出力され、印刷して窓口に提出して手続きすることが可能です。
- 期待される効果：出生時の手続きについての情報をいつでもどこでもオンラインで調べられ、入力必須項目のみが表示されるWebフォームを使用して、それら全ての申請書類を同時かつ正確に作成することができます。これにより「ワンストップ・ワンズオンリーの手続き」が実現し、これまで煩雑と思われてきた行政手続きのユーザーエクスペリエンス向上が期待できます。自治体職員にとっては、窓口での問い合わせ対応減少などの業務負担軽減が見込まれます。

### <「子どもが生まれた時の手続き」に関する課題>



### <住民目線のサービスツール導入後>



## <申請書作成画面イメージ>



### 【会社概要】

名称：株式会社アスコエパートナーズ

代表取締役社長：安井 秀行

設立日：2010年2月8日

事業内容：ユニバーサルメニューによる行政サービス情報提供事業

ユニバーサルメニューに関するシステム、データベース、サイト構築事業

自治体コンサルティング事業

URL：<https://www.asukoe.co.jp/>

### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社アスコエパートナーズ

TEL：03-6452-8724

広報担当：金

E-mail：[pr@asukoe.org](mailto:pr@asukoe.org)